

みき歴史資料館で歴史講座「はじめてのくずし字」を開催

平成28年10月14日(金)、21日(金)、28日(金)の3回シリーズで、近都兼司市史専門員が講師となり、みき歴史資料館の歴史講座として「はじめてのくずし字」を開催しました。この企画は、古文書初心者の方々を対象として、古文書に親しんでもらうことにより、地域の歴史文化活動への橋渡しを行う趣旨で開催しました。

幸い多くの方にご参加いただき、3日間でのべ約60名の参加者を得ることができました。



三木の古い資料や写真の情報をお寄せください!

市史編さんグループでは、三木の歴史について幅広く調査を行っています。

- ◆ くずした文字で書かれた帳面や一枚ものの文書などの古文書
- ◆ 和紙に書かれた冊子などの古い本
- ◆ 明治・大正・昭和の古いノートや記録(日記・手紙など)
- ◆ 三木市域の古い写真、絵画、映像など
- ◆ 自治会などの団体、地域でのグループ活動などの記録や資料
- ◆ 古いふすまや屏風(古文書が下張りに使われていることがよくあります)

皆さんのお近くにある古い記録類は、地域の歴史を物語る大切な歴史資料となります。上記のような資料の情報をお持ちの方は、ぜひ市史編さんグループまでご一報ください!

市史編さん日誌(平成28年8月～平成29年3月)

平成28年8月24日	平田区有文書の第二次借用
平成28年9月7日	黒田清右衛門邸調査
平成28年9月10日	みき歴史資料館歴史講座「戦時下の村のくらし」開催(講師:吉原大志市史専門員)
平成28年9月16日	第1回市史編さん委員会
平成28年9月24日	大西尚平家文書(大西甚一平氏文書)の借用
平成28年10月14,21,28日	みき歴史資料館歴史講座「はじめてのくずし字」開催(講師:近都兼司市史専門員)
平成28年10月15日	黒田清右衛門家史料の借用
平成28年10月26日	藤田紘一家文書の借用
平成28年11月2日	大宮八幡宮文書の借用
平成28年11月10日	正中家文書の借用
平成28年11月11日	永尾護家文書の借用
平成28年11月12日	四合谷区有文書の借用
平成28年12月7日	神戸大学社会学研究室による市内調査
平成28年12月22日	第1回地域編専門委員会
平成29年1月6日	第1回通史編専門委員会
平成29年1月13日	仲嶋恭子家文書の受け入れ
平成29年2月1日	岩崎貞吉氏所蔵文書の借用
平成29年2月3日	御坂神社文書の借用
平成29年2月9日	地域編地区部会(口吉川)開催(於:口吉川町公民館)
平成29年2月11日	みき歴史資料館企画展「地域の史料たちーみんなが主役の市史編さんー」開始(～3/26)
平成29年2月17～18日	神戸大学古文書合宿(於:旧玉置家住宅)
平成29年2月17日	第2回市史編さん委員会
平成29年2月26日	みき歴史資料館企画展特別講演会「市民が主役の自治体史編さん」(講師:大槻守氏)
平成29年3月18日	みき歴史資料館企画展関連企画「ワークショップ市史編さん体験～古文書に触ろう～」

市史編さんだより 第3号(平成29年3月29日発行)

編集:三木市教育委員会教育企画部 文化スポーツ振興課 市史編さんグループ

発行:三木市教育委員会

連絡先:市史編さんグループ

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5 みき歴史資料館2階

電話 0794-83-1120 / FAX 0794-83-1190

市史編さんだより 第3号

「第2回三木市史編さん委員会」を開催

平成29年2月17日(金)に、みき歴史資料館において「第2回三木市史編さん委員会」を開催しました。

編さん委員会では、事務局より編さん事業の進捗状況が報告されるとともに、通史編・地域編の各専門委員会(下段記事を参照)の開催報告及び各専門委員会から挙げられた審議事項について意見が交わされました。また、新しい市史の名称や体裁などについても議論が交わされ、市民の皆さんが手に取りやすい市史を作るための議論がなされました。



通史編と地域編の「専門委員会」を開催

平成28年12月22日(木)、みき歴史資料館において「第1回地域編専門委員会」を開催しました。委員会は、地域編の編さんの具体的な方針の審議や各地区部会の活動への助言等を行う場となります。当日は、専門委員の互選により委員長に神戸大学の奥村教授が選任されました。引き続き審議事項に入り、地域編の編さんに向けて地域史料の悉皆調査や地域調べの項目、方法などについて議論されました。

平成29年1月6日(金)には、三木市役所において「第1回通史編専門委員会」が開催されました。委員会は、通史編の編さんの具体的な方針などについて審議・決定を行う場となります。当日は、専門委員の互選により委員長は神戸大学の奥村教授が選任されました。また、時代・分野別部会長の選任及び各部会員の入選の依頼、今後のスケジュール等について審議されました。



地域編専門委員会の様子



通史編専門委員会の様子

通史編専門委員

委員長(近現代史部会長)	奥村 弘(神戸大学大学院人文学研究科教授)
自然地理部会長	坂口 隆康(元兵庫教育大学・元関西国際大学教授)
古代史部会長	古市 晃(神戸大学大学院人文学研究科准教授)
中世史部会長	市澤 哲(神戸大学大学院人文学研究科教授)
近世史部会長	山崎 善弘(奈良教育大学教育学部特任准教授)
考古部会長	福永 伸哉(大阪大学大学院文学研究科教授)
文化財部会長	内田 俊秀(京都造形芸術大学名誉教授)

地域編専門委員

委員長	奥村 弘(神戸大学大学院人文学研究科教授)
	尾立 和則(三木市文化財保護審議会委員)
	宮田 逸民(三木市文化財保護審議会委員)
	田中 隆次(三木市史編さん委員)
	藤田 均(三木市史編さん委員)

地域編「口吉川部会」が発足

新しい三木市史では、地域にお住まいの皆さんが調査・研究から執筆までを担う「地域編」の編さんを企画しています。その最初の取組として、平成29年2月9日(木)に口吉川町公民館において「第1回口吉川部会」を開催しました。

当日は、部会長の飯田弘次氏ほか4名の部会員の皆さんにお集まりいただき、今後の「口吉川編」の編さんに向けての方針や進め方などについて議論が交わされました。

今後は、平成31年度の刊行に向けて口吉川編の編さんに本格的に着手するとともに、順次地区ごとに編さん

事業を進めていく予定です。住民の皆さんの編さん事業へのご理解と積極的な参加をお待ちしています。



みき歴史資料館企画展「地域の史料たち」開催

平成29年2月11日(土)から3月26日(日)まで、みき歴史資料館2階企画展示室において、企画展「地域の史料たち—みんなが主役の市史編さん—」を開催しました。本企画展は、「住民参加による自治体史編さん」をコンセプトに掲げている市史編さん事業について、編さん活動の様子やこれまで調査した歴史資料の展示を行い、

三木の地域歴史遺産の魅力を紹介する目的で実施し、のべ2,130名の来館者がありました。また、この企画展に関連して、2月26日(日)には香寺歴史研究室主宰の大槻守氏を講師に

迎え、「市民が主役の自治体史編さん」と題する企画展特別講演会を開催。また、3月18日(土)には「市史編さんボランティア」の皆さんと「旧玉置家文書保存会」の皆さんが講師となり、来館者に実際に古文書に触れてもらう試みとしてワークショップ「市史編さん体験～古文書に触ろう～」を開催しました。

市史編さんグループでは、今後も市民の皆さんに市史編さん事業について、様々な形で知っていただけるような企画等を実施します。



企画展「地域の史料たち」の様子



大槻氏による企画展特別講演会

神戸大学との連携事業

現在、市史編さん事業は神戸大学大学院人文学研究科との連携事業として進めており、市史に関わる調査について、大学との連携した取組を進めています。

平成28年12月7日(水)、佐々木祐准教授ほか神戸大学社会学研究科の学生・院生17名が三木市を訪問し、滑原商店街→旧玉置家住宅→大村地区→山田錦の館(吉川町)→三木総合防災公園→緑が丘地区を巡り、現在の三木市の概要について学びました。今後同研究室は三木市内での社会調査を実施し、その成果は市史に反映される予定です。

また、平成29年2月17日(金)、18日(土)の2日間、旧玉置家住宅において神戸大学日本史学研究室による古文書合宿が開催されました。当日は参加学生たちにより志染町の「御坂神社文書」の整理が行われ、合宿の最後には御坂神社氏子の皆さんをはじめとする市民の参加を得て、整理作業の成果報告会が開催されました。



社会学研究科の調査の様子



古文書合宿の様子

「市史研究みき」第2号を刊行します

今号では第1回「市史編さん委員会」で決定された新しい三木市史の事業概要と基本計画をお知らせするとともに、「市史編さんボランティア」の皆さんによる

座談会や進藤輝司氏による「三木郷土史の会」の活動紹介など、次のような内容となっております。ぜひ、お手にとっていただければ幸いです。

『市史研究みき』第2号

- ▶ 新三木市史編さん事業の概要／三木市史編さん基本計画
- ▶ 座談会「市史編さんボランティア」に参加して
- ▶ 活動紹介「郷土歴史資料の蓄積に務めた「三木郷土史の会」26年間の歩み」(進藤輝司)
- ▶ 論考「近世中期壬生藩上方領における村落間争論と大坂蔵屋敷」(近都兼司)
「私が三木でみたいいくつかの近世絵図について」(長谷川奨悟)
- ▶ 史料紹介「明治期・美濃郡北谷村で発行された雑誌『千代の誉』について」(川内淳史)
「戦時下の村のくらし—『平田区有文書』から—」(吉原大志)

『市史研究みき』は定価500円(税込)にて、みき歴史資料館、教育委員会文化スポーツ振興課窓口(市役所5階)にて販売しています。

また『市史研究みき』では三木市の文化・歴史(時代は問いません)に関わる投稿を募集しています。募集している原稿のジャンルは、三木市の文化・歴史に関わる論考や資料紹介のほか、市民の皆

さんによる調査報告や活動紹介についても受け付けています。詳しくは、下記の「投稿規定」をご参照ください。

ご不明な点につきましては市史編さんグループまでお尋ねください。皆さんからの積極的なご投稿をお待ちしています!



『市史研究みき』投稿規定

- ◇ 掲載原稿のコンセプト
三木市の文化・歴史に関するもの(時代は問いません。)
- ◇ 原稿のジャンルと規定枚数(すべて挿入図版を含む)
 - 1 論考(400字詰原稿用紙10~70枚程度)
 - 2 資料紹介(400字詰原稿用紙10~70枚程度)
 - 3 その他三木市の文化・歴史に関する調査報告や活動紹介など(400字詰原稿用紙3~20枚程度)
- ◇ 原稿の様式
 - 1 手書き原稿、ワープロ原稿を問いませんが、必ず完成原稿でご提出ください。
 - 2 ワープロ原稿で提出の場合
 - (1) 原稿は、プリントアウトしたものと、データ(図版等含む)をCD-R等の記録媒体に収録したものと両方をお送りください。
 - (2) 写真・図版・表などは、本文に割り付けず、別途ファイルをいただくようにお願いします。(プリントアウト原稿におおよその位置をご指示ください。)
 - (3) 本文・図版・表などの体裁については、編集上の都合により、調整させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
 - 3 注は、本文の末尾にまとめて付けてください。
- ◇ 注意点
 - 1 著者校正は原則1回を予定(誤植程度の訂正のみ)しています。
 - 2 寄稿原稿は、教育委員会において検討の上、採否を決定します。
 - 3 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行いません。

◇ 投稿先

〒673-0432 兵庫県三木市上の丸町4-5 みき歴史資料館2階 市史編さんグループ宛